

## 議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和5年6月20日（火） 午後2時から午後4時
場 所	防災情報センター 災害対策本部室
会議件名	令和5年度 第1回 日野市子どもの貧困対策推進委員会
主な議題	第2期日野市子どもの貧困対策に関する事業の進捗状況について
参加者	<p>■推進委員会委員〈学識経験者〉福田 憲明（委員長）、小田川 華子（副委員長）〈市民委員〉平田 康代、星野 美智代、藤浪 里佳〈子どもの貧困対策に関する活動を行っている者〉阿部 智子、岩谷 健治〈民生児童委員の代表者〉中村 眞紀子〈小学校の代表者〉川島 清美、大西 浩之〈市職員〉中田 秀幸、村田 幹生、山下 義之</p> <p>■庁内連絡会委員 平和と人権課長、納税課長、都市計画課長、福祉政策課長、生活福祉課長、健康課長、子育て課長、保育課長、子ども家庭支援センター長、発達・教育支援課長、教育部統括指導主事、庶務課長、学務課係長、生涯学習課参事、教育指導課主幹</p> <p>■オブザーバー（次第6について） 阿部 和広</p> <p>■事務局〈副市长〉波戸尚子〈セーフティネットコールセンター長〉簗野 亨〈副主幹〉地下有可里〈係長〉秋山滋美、小林 拓也〈主事〉吉岡 典子、及川 郁子</p>
配布資料	<p>資料1. 日野市子どもの貧困対策推進委員会 委員名簿</p> <p>資料2. 日野市子どもの貧困対策庁内連絡会 委員名簿</p> <p>資料3. 日野市子どもの貧困対策推進委員会 設置要綱</p> <p>資料4. 日野市子どもの貧困対策庁内連絡会 設置要領</p> <p>資料5. 第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針進捗状況管理表</p> <p>資料6-1. 令和4年度「子どもの貧困対策に関する職員研修」報告書</p> <p>資料6-2. 令和4年度「子どもの貧困対策に関する職員研修」資料</p> <p>資料7-1. 「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」リーフレット（案）</p> <p>資料7-2. 子どもの貧困対策に関する基本方針リーフレットに関する意見まとめ</p> <p>当日追加資料. 修正箇所抜粋【資料5②③】第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針進捗状況管理表</p>
結 果	<p><input type="radio"/> 了承（意見なし）</p> <p><input checked="" type="radio"/> 了承（意見あり）</p> <p><input type="radio"/> 要修正・再説明</p> <p><input type="radio"/> 不承諾</p> <p><input type="radio"/> 情報共有のみ</p> <p style="margin-left: 200px;">} いずれかに該当する場合は「主な内容」欄に意見要旨を記載</p>

主な内容

◇次第内容

1. 委員紹介（資料1・資料2）

令和5年4月～令和7年3月までの委嘱期間となる、推進委員会第4期委員13名の自己紹介を行った。また、庁内連絡会および、事務局についても自己紹介を行った。

2. 委員長・副委員長の選出について（資料3）

「日野市子どもの貧困対策推進委員会設置要綱」に基づき、委員長・副委員長の選出を行った。

委員長：小田川委員より福田委員の推薦があった。全会一致で福田委員が委員長に就任した。

副委員長：福田委員長の指名により、小田川委員が就任した。

3. 「子どもの貧困対策推進委員会」及び「庁内連絡会」の役割について  
〈資料3・資料4〉

事務局から説明を行った。質問はなし。

4. 子どもの貧困対策に関する事業の進捗状況について（報告）〈資料5・  
当日追加資料〉

事務局より説明を行った。事前に送付をした資料と事務局の説明を受け、推進委員より、質問やご意見をいただいた。

①管理番号1102の子どもオンブズパーソンは、誰が担うことを想定しているのか？（質問）

➡（福祉政策課長）子どもの権利侵害を救済するという立場のため、弁護士や学識者を想定している。どういった方が適任かは今後検討していく。

②子どもたちは権利侵害等があった場合は、何らかの相談機関を通して子どもオンブズパーソンに繋がるという認識でよいか？（質問）

➡（福祉政策課長）来年度、「子ども何でも相談」という窓口の開設を予定しており、子どもオンブズパーソンへ相談する際の入口とすることを想定している。ですが、本人の同意があれば、これ以外の場合でも必要に応じて子どもオンブズパーソンに繋げるよう体制構築をしていきたい。

③「子ども何でも相談」を周知するための広報活動や、相談窓口の対応をする方の相談スキルや資質向上のための研修が今後の課題である。（意見）

5. 「子どもの貧困に関する職員研修」について（協議）〈資料6-1・資料  
6-2〉

事務局および令和4年度に研修講師を務めた小田川副委員長より説明を行っ

	<p>た。事前に送付をした資料と説明を受け、推進委員からご意見をいただいた。</p> <p>①日野市の学校や保育園等でどんなことが起きているのかを、先生方の視点で意見を集めて紹介する研修があってもよいのではないか。(意見)</p> <p>②講義でインプットした後に、グループワーク形式でアウトプットしながら、職員同士で対話ができる機会があるとよい。同じ話を聞いてもそれぞれの置かれている立場や環境で感じ方は異なる。様々な人と話をすることで、より学びを深めるきっかけになると考える。(意見)</p> <p>③データで現状を分かりやすく伝えることに加え、実際にあった出来事等、現場のリアルがわかるようなエピソードを含めることで、引っ掛かりがあり、より効果的な研修になるのではないか。(意見)</p> <p>④実際の現場に見学等に行き、現場を具体的にイメージできるような研修にするのはどうか。(意見)</p> <p>⑤学識者等の話と現場の方の両方の話が聞けるプログラム構成がよい。(意見)</p> <p>⑥研修受講者のニーズにあったプログラムとするのがよい。政策形成の担当者向け、現場の方向けなどの2本立てにするのはどうか。(意見)</p> <p>⑦現場の方々のスキル向上のため、経験値のある現場の方が研修でお話しをする機会があるとよいかもしれない。(意見)</p> <p>⑧研修に初級、上級などの段階を設け、役割に応じて課題を設定していくとよい。そして、参加者自身が自分でも課題設定をし、自己点検・自己評価に繋がるような立体的な研修を目指してほしい。(意見)</p> <p><b>6. 「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」リーフレットの制作状況について(報告)〈資料7-1・資料7-2〉</b></p> <p>事務局および、オブザーバーの阿部和広氏から、制作経緯や現在の制作状況についての説明を行った。質問はなし。</p> <p><b>7. その他(事務連絡)</b></p> <p>次回委員会開催は10月11日(水)10時から12時に、災害対策本部室にて開催する。</p>
<p><b>作成者</b></p>	<p>セーフティネットコールセンター</p>